

## 福井市監査告示第19号

地方自治法第199条第5項及び第7項の規定により監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり公表する。

平成30年11月20日

福井市監査委員	谷川秀男
福井市監査委員	滝波秀樹
福井市監査委員	玉村正人
福井市監査委員	菅生敬一

### 1 監査の対象

(1) 団体名：そばまつり実行委員会（団体概要別紙）

事務の所管課：商工労働部 商工振興課

（そばまつり in みやま開催事業補助金）

(2) 団体名：公益社団法人 歴史のみえるまちづくり協会

（団体概要別紙）

事務の所管課：商工労働部 観光文化局 文化振興課

（歴史のみえるまちづくり協会助成事業補助金）

### 2 監査の範囲

平成28年度から平成30年度（30年度は8月末まで）の当該補助金に係る所管課及び交付団体の事務事業

### 3 監査の実施内容

財政援助に係る事業が補助の目的に沿って適正かつ効率的に執行されその目的を達成しているか、また所管課の指導監督が適切に行われているかについて、関係書類の審査及び担当者からの説明聴取を実施した。

#### 4 監査の期間

平成30年8月27日から同年10月17日まで

#### 5 監査を執行した監査委員

谷川秀男監査委員、滝波秀樹監査委員、玉村正人監査委員、菅生敬一監査委員

#### 6 監査の結果

##### (1) そばまつり実行委員会

監査の結果、補助金交付事務手続きについては、おおむね適正に執行されていた。

ただし、指摘事項として掲げた事項については、速やかに是正措置をとられたい。また、検討が望まれる事項については、意見を提出する。

##### (指摘事項)

全体の損益に関して、出店者は、そば等の売上げを収益として得ていた一方で、本来、必要経費として負担すべき水道光熱費や会場設営費等のそのほぼ全額は実行委員会が負担していた。補助金の算定は、それらの経費も補助対象経費として含めており、補助金としての適正性に疑義が生じる。

本来ならば、収益につながる経費は補助対象経費とするべきではなく、それらの費用を除いた分に対して補助金を充てるべきである。所管課は、補助金額の算定に際し、全体の損益を把握した上で適正に算定されたい。

##### (指摘事項)

勘定元帳が作成されておらず、実績報告書も詳細に記載されていなかった。また、現金の立替払いも散見され、切手等の金券類の受

払簿も作成されていなかった。さらには、市財務会計規則では競争入札となる業務委託が随意契約でなされていること、駐車場代、水道代、車代、報償費等の算定根拠が不明瞭であることなど、収支の透明性が確保されているとは言い難い状況であった。

公金が原資であることから、所管課は、収支の透明性を確保すべく関係書類を整備するよう交付先団体に対して指導するとともに、資金の流れを詳細に把握すべく関係書類を精査されたい。

(意見)

交付要綱には目的が規定されておらず、補助金の趣旨が不明瞭である。補助金は一度交付されると、長期化・固定化する傾向があることから、所管課は、交付目的を明確化し、交付先団体に対して指導するとともに、効果等を十分に評価・検証した上で、補助事業の再構築も含めて見直されたい。

(2) 歴史のみえるまちづくり協会

監査の結果、おおむね適正に執行されていると認めた。

ただし、指摘事項として掲げた事項については、速やかに是正措置をとられたい。

(指摘事項)

歴史のみえるまちづくり協会助成事業補助金は、要綱において、補助対象事業のみが明記され、対象となる経費については具体的に定められておらず、補助対象の範囲が不明確であった。そのため、補助対象とは認めがたい経費や、補助対象事業の内容に合致していない経費が含まれていた。

所管課は、交付団体に分かりやすいよう補助対象経費について具

体的に規定するとともに、対象事業の内容と経費について見直されたい。その上で、対象経費に該当するか精査を徹底されたい。

( 指摘事項 )

当協会の臨時的雇用職員の給与については、臨時的雇用職員就業規程に算出根拠や支給手続きが規定されているが、手当の算定や支給時期、有給の特別休暇など、当該規程に基づかない事務処理が散見された。

規程に基づき、適正に処理するとともに、規程にないものについては必要に応じて整備するなど、所管課は、補助金の用途については説明責任を果たせるように、支出の根拠を明確にするよう指導されたい。

## 団体概要

### そばまつり実行委員会

#### 1 そばまつり実行委員会の事業概要

##### (1) 事業の目的

美山地区内で生産されるそばを市内外に広くアピールし、特産そばの普及と交流人口の増加により地域の活性化を図ることを目的として、平成 18 年 8 月 11 日に設立された。

##### (2) 事業の現況

年一回、10 月最終週の日曜日に、木ごころ文化の郷・野外イベント広場（美山町 2-8、美山公民館前）にて、地元の愛好会が出店するそば店（例年 8 店）の他、模擬店の出店や各種イベントを開催している。また、同時に美山地区文化祭を美山公民館・木ごころ文化ホールにて開催している。

#### 2 補助対象事業の概要

##### (1) 補助対象事業の目的及び現況

交付要綱には、補助対象事業の目的は記載されていない。

補助対象事業及び対象経費については、交付要綱第 3 条において、そばまつり実行委員会が行う事業を補助対象としており、第 4 条において、以下の項目に関するものを補助対象の経費としている。

費目	費用例
報償費	
需用費	消耗品費、燃料費、印刷製本費、水道料
食糧費	会議時や当日のお茶代、当日の出演者や警備隊の食事代
役務費	郵便料、運搬料、一般電話料、専用回線料、広告料、手数料、筆耕翻訳料、保険料
委託料	
使用料及び賃借料	
その他市長が適切であると認めたもの	

##### 事業の実施状況

平成 28 年度は 10 月 30 日、平成 29 年度は 10 月 29 日に、美山公民館前の「みやま木ごころ文化の郷」にて開催された。

そば店及び模擬店の出店以外にも、平成 28 年度は、そばの早食い大会、流しそば、百戸田吾作とそば挽き体験、バルーンアート、フルートの演奏、琉球国祭り太鼓演奏のミニコンサートも開催した。（平成 29 年度は雨天のため、そばの早食い大会、流しそば、百戸田吾作とそば挽き体験、バルーンアート、琉球国祭り太鼓演奏を開催し、越前美杉太鼓、越前美山音頭総踊りは中止となった。）

【来場者数等】

年度		平成 28 年度	平成 29 年度
参加人数	見込み	県内外約 8,500 人	県内外約 8,500 人
	実績	" 約 8,000 人	" 約 4,000 人
出店実績	そば店	8 店	8 店
	模擬店	18 店	17 店
そば提供数		正確な数値は把握していないが、約 4,000～5,600 杯	

( 2 ) 福井市との関係及び補助金交付状況

旧美山町時代の平成 3 年から 17 年までは、「みやままつり」として、美山町主体で実施していた。合併協議を機に、そばまつり実行委員会設立の機運が高まり、平成 18 年 7 月 1 日に交付要綱が施行されるとともに、平成 18 年 8 月 11 日にそばまつり実行委員会が設立、合併後にも引継がれ、平成 21 年、平成 28 年、平成 30 年の各 4 月 1 日に一部改正している。

補助金については、同会設立時の平成 18 年度から交付している。補助金の限度額は、予算の範囲内としており、平成 28～30 年度の交付状況は下表のとおりである。

【そばまつり in みやま開催事業補助金の交付状況】

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
予算額		3,500,000 円	3,500,000 円	3,500,000 円
申請	事業支出予算額	3,773,903 円	3,860,937 円	3,859,897 円
	事業収入予算額のうち、諸収入	270,000 円	356,000 円	354,000 円
	交付決定額	3,500,000 円	3,500,000 円	3,500,000 円
実績報告	事業支出決算額	3,855,046 円	3,853,047 円	未確定
	事業収入決算額のうち、諸収入	356,000 円	354,000 円	未確定
	翌年度への繰越金	4,937 円	5,897 円	未確定

3 組織

美山地区自治会連合会及び各自治会、商工会や JA、森林組合などの地元支店等の役員等により構成されている。平成 30 年 4 月 1 日現在、委員数は 18 名であり、代表者として実行委員長 1 名、副会長が 2 名、会計が 1 名、監査が 2 名選任されている。

事務局は、特定非営利活動法人越前みやまそば元気の会が主務している。

## 歴史のみえるまちづくり協会

### 1 歴史のみえるまちづくり協会の事業概要

#### (1) 事業の目的

福井市固有の歴史と文化に関する事業を行い、本市における住民生活の充実と豊かで潤いのある個性的なまちづくりに寄与することを目的としており、平成8年に本市からの出捐金を受けて当協会は設立された。

#### (2) 事業の現況

公益事業として、以下の4つの事業を行っている。

歴史的環境整備の促進に関する事業

歴史的彫像・石碑の設置や維持管理、歴史的建造物の調査

歴史的文化活動の振興に関する事業

歴史講座の開催、子ども歴史クラブの開催、伝統行事の後継者育成事業支援

普及啓発に関する事業

歴史ボランティアの育成・派遣、歴史パンフレットの発行、会報の発行

歴史的拠点施設を活用した文化振興事業

愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館、グリフィス記念館の管理運営及び企画展等の開催、平成独楽吟の募集及び表彰

### 2 補助対象事業の概要

#### (1) 補助対象事業の目的及び現況

協会の運営を支援することで、歴史のみえるまちづくりを推進することを目的としている。

交付要綱第2条において、協会の事業にかかる人件費と、伝統行事の後継者支援育成事業の支援にかかる経費及び福井市歴史ボランティアバンク「語り部」の育成にかかる経費を補助対象としている。

#### 事業の実施状況

橘曙覧記念文学館、愛宕坂茶道美術館、グリフィス記念館の管理運営を行うとともに、各館の特色にあった企画展・イベント等の企画・運営を行った。

また、歴史ボランティア（語り部）の研修を実施し、歴史講座や講演会、観光案内への派遣を行った。

#### 【各館入館者数推移】

年度	愛宕坂茶道美術館	橘曙覧記念文学館	グリフィス記念館
平成27年度	9,402人	7,771人	12,140人
平成28年度	10,480人	9,240人	19,099人
平成29年度	10,478人	8,799人	15,684人
(29年度目標値)	(10,300人)	(8,520人)	(19,700人)

グリフィス記念館は平成27年10月開館

【歴史ボランティア「語り部」実績数推移】

年度	登録者数	講座等 派遣件数	ガイド件数	案内総人数 (実績)	案内総人数 (目標値)
平成 27 年度	56 人	37 件	557 件	11,038 人	10,300 人
平成 28 年度	56 人	41 件	567 件	9,746 人	11,100 人
平成 29 年度	60 人	42 件	585 件	11,100 人	11,100 人

案内総人数は講座等の参加者とガイド案内を受けた人数の合計

( 2 ) 福井市との関係及び補助金交付状況

当協会は、本市において歴史のみえるまちづくり事業を推進するため、市が 2 億円を出捐して平成 8 年度に設立された。(平成 9 年度にも出捐しており、合計で 3 億 5 千万円当協会に出捐している。また、出資・出捐割合は本市 100%である。)当該補助金は設立年から継続して支出している。また、当該補助金のほかに、市の施設である愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館及びグリフィス記念館の管理運營業務を委託している。

補助金額は予算の範囲内で定める額としており、平成 28～30 年度の交付状況は下表のとおりである。

【補助金の交付状況】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
予算額	37,899,000 円	38,572,000 円	38,926,000 円
交付申請額	37,899,000 円	38,572,000 円	38,926,000 円
交付決定額	37,899,000 円	38,572,000 円	38,926,000 円
事業決算額	37,123,402 円	36,759,602 円	未確定
交付確定額(交付額)	37,123,402 円	36,759,602 円	未確定

3 組織

平成 30 年 8 月 1 日現在、職員数は 10 名(事務局長 1 名、協会運営事務 3 名、各館勤務 6 名(2 名×3 館))である。役員としては、評議員 21 名、理事 21 名、監事 2 名が選任されている。